

# 琉球弧の軍事要塞化を許すな！「5・15復帰」50年を問う！

## 5・13 脱植民地化沖縄集會に参加しよう！

- ◇ 日 時 5月13日（金）午後5時30開場 午後6時開始
- ◇ 場 所 浦添市社会福祉センターホール（浦添市仲間1丁目10-7・駐車場有）
- ◇ 基調講演 「日本復帰50年を問う」  
知花昌一（平和運動家・真宗大谷派僧侶） 質疑応答あり
- ◇ アイヌ民族 遺骨返還への思い / 宇佐照代さん（アイヌ文化伝承者）
- ◇ 発 言 金城 実（沖縄抵抗の歴史）  
辺野古の闘い報告：奥間政則さん（沖縄ドローンプロジェクト）  
宮古島自衛隊配備反対：清水早子さん（ミサイル基地いらぬ宮古島住民連絡会）
- ◇ 司会進行 宮城千恵さん
- ◇ 参加費 1000円（高校生以下入場無料／経済的に厳しい方は受付で申し出て下さい）
- ◇ 主 催 「5・15復帰」を問う沖縄行動

## 「日本復帰」50年式典反対行動に参加を！ —ヤマト（日本）による琉球再併合を問う—

- ◇ 日 時 5月15日（日）
- ◇ 集 合 午後2時 森川公園  
（宜野湾市真志喜1-24-1）駐車場あり  
まよなかしんやさんの歌あり
- ◇ 午後2時～集會開始「日本復帰」50年式典反対の発言  
午後3時デモ出発 沖縄コンベンションセンターに向けて
- ◇ 主 催 「5・15復帰」を問う沖縄行動  
連絡先：090-8356-3253 川越



森川公園地図

- ◇ 協 賛  
アイヌ民族と連帯するウルマの会／琉球・沖縄の自己決定権を樹立する会／天皇制を考える会  
沖縄靖国合祀取消シタイ／一坪反戦地主浦添ブロック／軍港反対！浦添市民行動  
先住民族権利宣言を支持する会／浦添のイノーを守る会／  
（順不同、敬称略・2022年4月1日現在）

# 琉球弧の軍事要塞化を許すな！「5・15復帰」50年を問う！

## 5・13 脱植民地化沖縄集会に参加しよう！

我ったあ琉球・沖縄は「祖国復帰」に納得しない。「復帰」して基地が拡大し、基地の被害によって不安な日々を送っている。我ったあの祖国は「琉球王国」だ。

「安倍政権（当時）は、2018年、沖縄の民意を無視し土砂投入を強行し、安倍・菅を継承する岸田政権は、今年も「辺野古ありき」で県内外の強い反対にもかかわらず強行し続けている。また、新型コロナウイルスの世界的流行の中、昨年夏、東京オリンピックを強行した。さらに、改憲案発議、国民投票実施、天皇制再編強化をたくらんでいる。

沖縄の復帰整備のために、屋良朝苗主席（当時）は、1971年11月17日、「復帰措置建議書を国会に届けようと羽田空港に降りた時、国会ではアメリカ軍基地の固定化を前提とした「沖縄返還協定」を強行採決した。幻の建議書となったその内容は、「地方自治の確立」・「反戦平和の理念」・「基本的人権の確立」・「県民本位の経済開発」等であった。

1972年5月15日の東京日本武道館で、祖国復帰記念式典に天皇が出席し、首相が「天皇陛下万歳」を三唱した。すなわち、沖縄返還は「戦争によって失われた日本の領土（天皇領土）の回復」であったのだ。「明治」琉球処分による皇民化教育、天皇制国家護持のための捨て石作戦の沖縄戦、「安保条約」と「日米地位協定」と沖縄の基地提供の基礎を築いた「天皇メッセージ」。これは天皇による沖縄植民地化の歴史である。今年も東京と沖縄で同時に「祖国復帰記念式典」を行い、東京から天皇がメッセージを語る。天皇の同化政策は沖縄民衆の心情をくすぶり、国内植民地化をさらに強化するであろう。

## 「5・15復帰」を問う沖縄行動と共に、5月行動の取り組み紹介

### 5月13日（金）

★ 浦添軍港反対！ キャンプ・キンザー包囲デモ

午後1時半 浦添市役所集合 午後2時デモ発

主催・軍港反対！浦添市民行動

### 5月14日（土）

★ 南と北を結ぶイチャルパ（南北之塔）

午前10時～ 南北之塔前（糸満市真栄平部落・アバタガマ）

主催：アイヌ民族と連帯するウルマの会

共催：「北方領土の日」反対！「アイヌ新法」実現！全国実行委員会（ピリカ全国実）



■ 5.13集会、5.15デモ、5.13デモの賛同をお願いします。

賛同費は個人・団体とも一口1000円 振込： ゆうちょ銀行 記号17070 番号15042341

他の金融機関からの振り込み受取口座として利用される際は 店名 七〇八（読み ナナゼロハチ）店番

708普通預金 口座番号1504234 口座名称 「5・15」復帰を問う沖縄行動

連絡先 090-8356-3253（川越弘）